

アグリ | ワーク | ポイント

適期収穫
極早生ミカンから早生ミカンへと収穫作業が進んでいきます。適期の収穫を心掛けると同時に、翌年の生産に向けた管理も遅れることがないよう計画的に作業を行いましょう。



果樹林産センター 小柳 博明

みかん

収穫に向けて

樹上選果
樹上選果では、病害虫被害果やキズ果、粗皮果等の外観不良果と規格外の大きさの果実を摘果します。天

成り果等の果梗枝が太い果実は、秋芽が発生しないよう果梗枝ごと剪定鋏を使って基部から間引きします。商品価値の低い果実をあらかじめ摘果しておくことで、収穫作業や家庭選果の省力化につながります。

秋肥
秋肥は、果実生産により弱った樹の樹勢の回復、耐寒性の向上、翌春の着花量や発芽量を確保することを目的に施用します。

浮皮軽減対策
10月からできる浮皮軽減対策として、クレントがあります。炭酸カルシウムを主成分とした、新しい浮皮軽減剤で、微粒の炭酸カルシウムが果実表面に薄く付着し、降雨や朝露により果実に付着した水分の乾燥を促進します。着色初期と4〜5分着色期の2回が散布時期となっています。

病害虫防除
10月に入っても高温多雨の日が続く場合は、黒点病の防除が必要ですが、ただし、収穫前30日の使用になるので、農薬の適正使用基準に注意してください。秋期のミカンハダニは、収穫時の果実の外観に大きく影響するので、防除の徹底に努めましょう。気候の温暖化により、病害虫の発生時期が伸びる傾向にあるので、園地をよく観察し、被害の発生に注意しましょう。

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用基準
10月	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回
発生時	ミカンハダニ	コロマイト水和剤	2,000倍	7日-2回
発生時	カメムシ ミドリヒメヨコバイ	ロディー乳剤	2,000倍	7日-4回
降雨が多い場合	褐色腐敗病・黒点病	ストロビーDF	2,000倍	14日-3回

時期	品種	肥料名	施肥量	備考
10月下旬	早生	粒状固形26号	4袋/10a	
11月上旬	青島	粒状固形248	3袋/10a	一般土壌
		柑配6号	4袋/10a	耕土の浅い園地